

(2) 試験研究課題一覧

凡例

番号：年度毎連番、課題番号：小課題番号＋細目課題番号、
 推進構想分野：当該課題の関連する推進構想分野を略称で記載。複数ある時は主となる分野に を付記。
 実施区分：継；次年度継続、完；本年度完了、繰上完了；終期を繰上げ本年度完了、廃止；途中で終了
 担当研究室：主担当に を付記。
 予算：国庫研究；国庫補助研究、国庫委託；国庫委託事業、民間委託；民間委託事業、
 令達；他公所からの令達予算研究、県単研究；県単研究予算、県単採種；主要農作物採種管理費

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室 (;主担当)	予算
1	38 -3200	水稲 農業農村	北上川流域地帯における水稲湛水点播直播栽培技術の確立 点播栽培技術の総合実証 実証技術の総合評価と地域営農システムの確立	13～14	継	農業経営 水田作 生産工学	国庫 研究
2	96 -1200	畑作物 農業農村 水田農業	不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安定栽培 技術 大豆不耕起栽培体系の導入条件と展開方策 水田利用作付体系・機械化栽培定着のための生産組織化 の究明	12～13	完	農業経営 野菜畑作 生産工学	
3	-4100		高品質・超省力栽培体系の現地実証 組立技術の経営経済評価	12～15	継		
4	739 -1100	畑作物	寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽培技術の 開発 麦・大豆立毛間播種体系の導入条件と展開方策 麦・大豆立毛間播種栽培の定着要因の解明	13～17	継		
5	128 -1110	果樹 農業農村	需要拡大のための省力的食味本位リンゴの生産・流通技術の確立 食味本位リンゴの省力的生産技術導入による経営基盤強化方 策の解明 食味本位りんごの省力的生産技術導入による経営基盤強 化方策 現行非破壊選果機の活用上の問題点の把握と改善方 策	12～14	継	農業経営 果樹	
6	-1120		食味本位リンゴの生産体制及び流通機構の実態解析 と改善方策	12～14	継	農業経営	
7	154 -3200	野菜 農業農村 やませ利用	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 機械化畑輪作体系の実証と評価 経営及び地域に対する経済性の評価	9～13	完	農業経営 産地育成	
8	206	花き 農業農村	カジュアルフラワーの消費動向と流通販売方策	11～13	完	農業経営 花き	県単 研究
9	233 -2000	酪農 農業農村	完全自動（ロボット）搾乳機等を応用した超省力管理技術の確立 搾乳ロボット導入による超省力管理システムの経営経済評価	12～13	完	農業経営 家畜飼養	
10	242 -1300	肉畜 農業農村	北上山地における公共放牧地の高度利用による黒毛和種肥育素牛 の放牧管理技術の確立 黒毛和種肥育素牛生産における放牧利用の展開方向の解明 黒毛和種肥育素牛の放牧育成システムの経営的評価	13～15	継	農業経営 外山畜産	国庫 研究
11	-1200		遠野地域の公共牧場における総合的放牧利用の展開方向 の解明	11～13	完		
12	256 -1200	草地飼料 農業農村	北上山地における公共草地の高度利用のための貯蔵粗飼料生産・ 供給システムの確立 北上山地における良質粗飼料生産・調製・供給システムの現 地実証 良質粗飼料生産・調製・供給システムの経営経済的評価	10～13	完	農業経営 飼料生産	
13	-1300		北上山地における貯蔵粗飼料生産・調製・供給のための地域 支援システムの構築 採草地を組み込んだ公共草地の高度利用の解明	11～13	完		
14	751 -3000	農業農村 情報利用	気象変動下における作物生産シミュレーションモデルの開発 生産及び流通経済環境の変化に対応した農業経営設計システ ムの開発	13～15	継	農業経営 土壌作物栄養 営農技術	
15	420		地域農業計画診断システムの開発に関する研究	9～13	完	農業経営	県単

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(; 主担当)	予算
16	729	農業農村	県南部沿岸地域の小規模農業地域における地域農業再編モデルの策定	13～15	継		研究
17	700 -1000		主業型農家の経営発展過程分析による育成支援方策の解明	13～15	継		
18	426		新規就農青年の経営発展と支援方策	11～13	完		
19	428	農業農村 情報利用	農産物の市場動向分析	13～17	継		
20	701	農業農村	担い手の販売能力高度化に対応した産地の成立条件の解明	13～15	継		
21	444 -1200	生産システム 水稲 農業農村	寒冷地・大区画ほ場でのロングマット水耕育苗技術と移植・栽培技術の開発 寒冷地におけるロングマット水耕育苗技術の導入条件の設定 ロングマット水耕育苗技術導入経営体の明確化	12～14	継	農業経営 生産工学	国庫 研究
22	470 -1100	地域活性化 やませ利用	中山間地域活性化戦略の確立に関する研究 地域資源を高度活用した農産物供給システムの確立 地域特産物の生産実態把握と農産物供給システムの担い手への支援方策	11～13	完	農業経営	県単 研究
23	-1200		農業関連活動の有機的結合プロセスの解明	11～13	完		
24	702	地域活性化	中山間地域等直接支払制度の活用方策の解明	13～15	継		
25	483 -1200	農業農村 やませ利用	地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立 地域農業資源の探索・評価と新商材の需要把握（現地支援研究） 新商材の市場・消費ニーズの把握	12～14	継	農業経営 保鮮流通技術 産地育成	国庫 研究
26	-2100		高付加価値農産物の生産・流通技術の開発（技術開発試験） 商品特性に対応した流通チャネルの探索	12～15	継	農業経営 産地育成 やませ利用	
27	-3300		消費ニーズを踏まえた生産流通システムの実証（体系化実証試験） 開発技術の経営評価と生産・流通システムの策定	13～15	継	農業経営 営農技術 産地育成 やませ利用	
28	703	有機農業 水稲	水稲作における民間農法の経営的特長の把握	13～13	完	農業経営	県単 研究
29	35 -1000	水稲	奨励品種決定予備調査(粳、糯) 中・晩生品種	S29～13	完	水田作 やませ利用	県単 採種
30	36 -1000		奨励品種決定本調査(粳、糯) 中・晩生品種	S29～13	完		
31	37		奨励品種決定現地調査	S29～13	完		
32	728		大区画水田圃場における圃場畦畔の雑草制御と景観形成技術の確立	13～14	継	水田作 生産工学	県単 研究
33	38 -1100	水稲 農業農村	北上川流域地帯における水稲湛水点播直播栽培技術の確立 直播栽培技術導入条件の設定 品種・作期を組み合わせた直播導入可能地域の設定	11～13	完	水田作 農業経営	国庫 研究
34	-2100	水稲 土壌作物	湛水点播直播安定栽培技術の確立 出芽・苗立ちの安定化と初期生育の斉一化技術の確立	11～14	継	水田作 土壌作物栄養	
35	-2200		点播栽培の生育安定化技術の確立	11～14	継		
36	-3100	水稲 農業農村	点播栽培技術の総合実証 点播栽培技術の組み立て実証	11～14	継	水田作 農業経営 生産工学	
37	40 -1100	水稲	水稲作用新除草剤の効果の解明 水稲作用除草剤第2次適用性試験 県南適応性	S34～13	完	水田作 やませ利用	民間 委託
38	44 -1000		水稲作用新資材の効果の解明 新育苗培土等の実用性確認	1～13	完	水田作	
39	45 -1000		水稲栽培における水田雑草の最小限防除技術の開発 移植前作業と単成分除草剤による水田雑草の防除効果	12～15	継		令達
40	-2000		移植後の水管理が水田雑草の発生に及ぼす影響	12～15	継		

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
41	704 -1000	水稲 保鮮流通	米の食味改善診断技術の開発 中・晩生水稲品種の食味診断技術開発	13～15	継	水田作 土壌作物栄養 やませ利用	県単 研究
42	58 -1000	水稲	水稲粳有望品種・系統の栽培特性 粳有望新系統「岩南25号」の栽培特性	13～14	継	水田作	
43	-2000		粳有望新系統「岩南60号」の栽培特性	13～14	継		
44	59		水稲優良種子生産のための発芽能力検定法の確立	13～15	継		
45	48 -2000		良質・良食味米生産技術の栽培実証 県産米の品質・食味レベルアップ現地栽培実証	S58～13	完	水田作 やませ利用	民間 委託
46	-1100		良質・良食味米生産技術の栽培実証 気象・土壌条件に対応した新品種の高品質安定生産技術の確立 早生・良質・良食味新品種「岩南16号」の栽培	13～14	継		県単 研究
47	60 -1000		水稲有望新系統の早期栽培特性把握試験 粳有望系統「岩南25号」(一関市)	13～14	継	水田作	
48	49 -1000	水稲 情報利用	水稲作況調査と作柄成立要因の解析 中・晩生品種	S34～13	完	水田作 やませ利用 土壌作物栄養	
49	50 -1000		水稲優良品種の気象反応試験 中・晩生品種関係	S34～13	完	水田作 やませ利用	
50	51	水稲 土壌作物	土壌・施肥管理と水稲の生育反応	S34～13	完	水田作 やませ利用 土壌作物栄養	
51	55	水稲 情報利用	登熟診断技術の確立	10～13	完	水田作	
52	57	水稲	水稲糯有望新系統の栽培特性 糯有望新系統「岩南糯19号」の栽培特性	10～13	完		
53	60 -2000		水稲有望新系統の早期栽培特性把握試験 糯有望系統「岩南糯19号」(紫波町)	13～13	完		
54	740 -1000	水稲 草地飼料	寒冷地北部におけるホールクロップサイレージ用イネの栽培実証 省力・低コスト生産技術体系の実証	13～15	継	水田作 飼料生産	国庫 委託
55	-2000		ミニマム防除体系の確立	13～14	継		
56	61	水稲	水稲原々種生産	S29～	継	水田作	県単 採種
57	62		水稲原種生産	S29～	継		
58	444 -2300	生産システム 水稲	寒冷地・大区画ほ場でのロングマット水耕育苗技術と移植・栽培技術の開発 寒冷地におけるロングマット水耕育苗技術の開発 ロングマット苗の移植精度向上と初期栽培管理技術の開発	12～14	継	水田作 生産工学	国庫 研究
59	736	水稲	分子マーカーを用いた岩手県水稲奨励品種の識別技術の確立	13～14	継	水稲育種	令達
60	737		分子マーカーを用いた水稲品種選抜技術の検討	13～17	継	応用生物学	
61	5 -1000		水稲新規需要等対応品種の育成 水稲新規需要等対応品種組み合わせ親の特性調査	2～22	継	水稲育種	
62	18 -1000		水稲品種特性調査 東北地域の水稲奨励品種比較試験	7～22	継		
63	-2000		水稲品種保存用品種・系統の展示及び交配母本の養成	S59～22	継		
64	6		水稲高度耐冷性集積系統の育成	2～22	継		
65	7		水稲高度耐病性集積系統の育成	2～22	継		
66	19 -1000		水稲品種育成交配試験 水稲交配試験	S59～22	継		
67	-2000		水稲初期世代養成試験	S59～22	継		
68	-3000		水稲世代促進試験	S59～22	継		
69	-4000		水稲個体選抜試験	S62～22	継		
70	-5000		水稲単独系統選抜試験	S62～22	継		

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(; 主担当)	予算		
71	20-1000		稲いもち病抵抗性極強品種・系統の育成	1~22	継	水稲育種 やませ利用			
			いもち病真性抵抗性遺伝子型の推定						
72	-2000		葉いもち圃場抵抗性検定調査	S48~22	継				
73	-3000		穂いもち圃場抵抗性検定調査	S62~22	継				
74	21-1000		極良食味水稲品種・系統の育成	S60~22	継				
			食味官能調査						
75	-2000		食味成分調査	2~22	継				
76	-3000		炊飯米外部構造調査	13~22	継				
77	15-1000		水稲生産力検定試験	S58~22	継				
			生産力検定予備試験						
78	-2000		生産力検定予備試験系統群	S58~22	継				
79	-3000		生産力検定本試験	S58~22	継				
80	-4000		生産力検定本試験系統群	S58~22	継				
81	16-1000		水稲系統適応性検定試験	S39~22	継			水稲育種 やませ利用	国庫 委託
			水稲系統適応性検定試験(国公立育成成分)						
82	-2000		稲民間育成品種評価試験	13~13	完			水稲育種	民間 委託 令達
83	22-1000		高度耐冷性水稲品種・系統の育成	2~22	継			水稲育種 やませ利用	
			高度耐冷性を有する系統の探索						
84	-2000		障害型耐冷性検定調査	S59~22	継				
85	23	不良環境地帯向け水稲品種の育成(現地試験)	S59~22	継	水稲育種 やませ利用				
86	24-1000	育成地間相互交換水稲系統適応性検定試験 中・晩生水稲系統	S52~22	継					
87	25	低温登熟性に優れる水稲品種・系統の育成	2~22	継	水稲育種				
88	26-1000	難穂発芽性水稲品種・系統の育成	S62~22	継					
		穂発芽性検定調査							
89	27-1000	直播適応性水稲品種・系統の育成	13~15	継					
		直播関連適性検定法の検討							
90	-2000	直播生産力検定試験	3~22	継					
91	28-1000	超多収水稲品種・系統の育成	2~22	継					
		育成系統の施肥反応試験							
92	29	醸造用水稲品種・系統の育成	2~22	継					
93	30	醸造用水稲品種・系統の加工適性試験	8~22	継					
94	31	水稲糯品種・系統の育成	2~22	継					
95	32	低アミロース水稲品種・系統の育成	2~22	継					
96	280	作物ハ`イテ` 果樹	りんごの有望品種及び有望台木の再分化技術の開発	12~14			継	応用生物学	県単 研究
97	281	作物ハ`イテ` 水稲	耐病性関連遺伝子導入稲の特性評価	9~13			完		
98	282	作物ハ`イテ` 果樹	耐病性関連遺伝子導入りんごの耐病性評価	9~13			完		
99	744-3000	作物ハ`イテ`	水田を活用した持続型作付体系及び優良種苗の確保によるサトイモ産地強化の実証 優良系統の培養苗利用による栽培実証	13~15			継	応用生物学 野菜畑作	応用生物学
100	284-1000	作物ハ`イテ` 花き	りんどう採種用親系統の維持・増殖技術の確立	9~13			完		
			えぞりんどうの葉片培養による大量増殖法の確立						
101	-2000		えぞりんどうの茎頂培養による大量増殖法の確立	9~13			完		
102	286		スタ・チス・シヌア・タの低コスト培養システムの確立	10~13	完				
103	287	作物ハ`イテ`	稲の薬培養を利用した育種技術の効率化	9~13	完				
104	288	水稲	DNAマーカー利用による稲優良形質の探索及び選抜法の確立	9~14	継				
105	289	作物ハ`イテ`	ピーマン病原ウイルスの検出・診断技術の利用	10~13	完				
106	290	野菜	なす科作物青枯病菌の検出・診断技術の利用	10~13	完				
107	292	作物ハ`イテ`	りんどうのウィルスフリー化技術の確立	9~13	完				

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
108	293	花き	小ぎくのウィルスフリー化技術の確立	12～16	継		
109	294	作物ハ イク 果樹	りんごのウィルスフリー樹の作出及び検定法の確立	9～13	完		
110	440 -2110	水稲 情報利用 生産システム	大区画ほ場営農に対応した低コスト・省力技術体系の確立 ラジコンヘリ利用による水稲栽培技術の開発 ラジコンヘリ利用による水稲直播栽培技術の確立	10～13	完	生産工学	
111	38 -2300	水稲 生産システム	北上川流域地帯における水稲湛水点播直播栽培技術の確立 湛水点播直播安定栽培技術の確立 点播栽培における効率的作業技術の確立	11～14	継	生産工学 水田作	国庫 研究
112	154 -1110	野菜 やませ利用 農業農村	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 機械化畑輪作体系の成立条件と導入対策 露地野菜の省力機械化技術の適応条件の解明 キャベツ等	9～13	完	生産工学 営農技術 農業経営 産地育成	
113	440 -1000	生産システム 水稲 情報利用	大区画ほ場営農に対応した低コスト・省力技術体系の確立 高度な診断技術・栽培管理知識を集約した「担い手農家技術 支援エキスパートシステム」の開発	9～13	完	生産工学	県単 研究
114	441	生産システム	労働強度・機械作業安全性の解析と改善技術の確立	9～13	完		
115	442	生産システム 水稲	新側条施肥体系の確立	11～13	完	生産工学 土壌作物栄養	民間 委託
116	96 -3110	生産システム 畑作物 水田農業	不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安定栽培 技術 大豆の高品質安定生産技術確立 大豆の高品質安定生産技術確立 不耕起播種機の能率・精度の向上	11～14	継	生産工学 野菜畑作	国庫 研究
117	739 -2300	生産システム 畑作物	寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽培技術の 開発 麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発 立毛間播種機の実用性と改良指針の作成	13～15	継	生産工学 営農技術	
118	-3000		麦・大豆立毛間播種栽培の現地実証	13～17	継	生産工学 農業経営 野菜畑作	
119	444 -2100	生産システム 水稲	寒冷地・大区画ほ場でのロングマット水耕育苗技術と移植・栽 培技術の開発 寒冷地におけるロングマット水耕育苗技術の開発 寒冷地水耕育苗における最適環境制御技術の開発	11～14	継	生産工学 水田作 土壌作物栄養 病理昆虫	
120	-2200		ロングマット苗の貯留・運搬・補給技術の開発	11～14	継	生産工学	
121	-2300		ロングマット苗の移植精度向上技術と初期栽培管理技術 の開発	11～14	継	生産工学 水田作 病理昆虫	
122	-3100		大区画圃場におけるロングマット苗移植技術の総合実証 大区画圃場におけるロングマット苗移植技術の組立実証	11～14	継	生産工学	
123	732	農村整備	傾斜地畑の土壌流亡防止工法の確立	13～15	継		令達
124	462		重機の走行がほ場整備後の土壌の均一性に与える影響の解明	11～15	継		
125	463 -1000	農村整備 水稲	ほ場条件に対応した水管理システムの確立 地下かんがい、地下排水方式の確立	9～14 13	繰上 完了		
126	-2000		用排水の自動化と水循環方式による水利用方式の確立	9～13	完		
127	465 -1000		北東北重粘土地帯における暗渠排水技術の確立 簡易で効果的な暗渠排水技術の確立	12～14	継		国庫 研究
128	-2000		新暗渠疎水材の実用化	12～14	継		
129	-3000		現地実証による効果測定	12～14	継		
130	463 -3000		ほ場条件に対応した水管理システムの確立 暗渠排水の最適被覆材の選定	9～14 13	繰上 完了		令達
131	466 -1000		大規模・大区画ほ場における生産管理のシステム化 畦畔被覆資材・方法の確立	9～13	完		
132	466 -2000		農道ターン方式の確立	9～13	完		

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(; 主担当)	予算		
133	121-1100	果樹	21世紀のリンゴわい化栽培を担うJM台木の利用技術の開発 JM台木の現地適応性の解明 JM7台木利用樹の現地適応性	11~15	継	果樹	国庫研究		
134	-2100		JM台木の簡易・安定・短期生産法の確立 台木の簡易増殖法	11~13	完				
135	-2200		苗木の短期生産法	11~13	完				
136	-3100		優良ポット苗の短期育成技術の確立 JM台木を用いたポット養成苗木の短期生産法	12~15	継				
137	-4100		JM台木と主要品種・県奨励品種との親和性の解明 JM台木と「ふじ」、「きおう」等の親和性	11~15	継				
138	-5110		JM台木利用・栽植様式による低樹高栽培の確立 台木の利用法 地上部台木長の検討	11~15	継				
139	-5120		JM5台木の間港台利用法の検討	11~15	継				
140	-5200		JM7台木の栽植様式の検討	11~15	継				
141	708		山ぶどう結実安定技術の確立	山ぶどう結実安定技術の確立	13~17			継	県単研究
142	709			ぶどう短梢栽培用平棚を利用した大粒種の栽培法の検討	13~17			継	
143	123-1100			西洋なしのわい化栽培による省力・低コスト栽培技術の確立 ラ・フランスの生産安定 ラ・フランスの単為結果性を利用した安定生産技術の検討	11~13			完	
144	124-1000		果樹園管理の省力機械化栽培法の確立 果樹園用局所施肥機による施肥量の削減と果実品質の向上	果樹園管理の省力機械化栽培法の確立 果樹園用局所施肥機による施肥量の削減と果実品質の向上	11~13			完	民間委託
145	125-1000			果樹の植調剤 りんご園の除草剤の効果的使用法	1~13			完	
146	-2000	ぶどう園等除草剤の効果的使用法		1~13	完				
147	-4000	りんごの摘花(果)剤の選抜と実用化		1~13	完				
148	-5000	りんごの摘葉剤の選抜		1~13	完				
149	127-1000	新品種等の安定生産技術の確立 きおうの裂果・落果防止技術の確立		新品種等の安定生産技術の確立 きおうの裂果・落果防止技術の確立	5~13	完	県単研究		
150	129-1000			果樹の生育と果実品質の変動要因の解明 りんごの生育・生態の把握	果樹の生育と果実品質の変動要因の解明 りんごの生育・生態の把握	9~13		完	
151	-2000				ぶどうの生育・生態の把握	9~13		完	
152	-3000	果樹の生育と果実品質の変動要因の解明 西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	9~13	完					
153	128-1111	果樹 保鮮流通	需要拡大のための省力的食味本位リンゴの生産・流通技術の確立 食味本位リンゴの均質化栽培技術の確立 食味本位リンゴの樹体構成法及び光センサー等を利用した均質化栽培法の確立 食味本位リンゴの樹相診断技術の確立 樹勢要因と果実品質の関係解明	12~13	完	果樹 保鮮流通技術	国庫研究		
154	-1112		食味本位リンゴの適正着果量の解明	12~13	完				
155	-1113		食味本位リンゴの樹相診断法の確立	13~14	継				
156	-1121		良食味・均質化のための樹体構成法 樹体内果実品質の分布把握	12~13	完				
157	-1122		受光条件と果実品質の関係解明	12~14	継				
158	-1123		葉面積指数と果実品質の関係解明	12~14	継				
159	-2111		食味本位リンゴの省力・低コスト・平易化栽培技術の確立 新植調剤の実用化による摘果作業の削減技術の開発 「ふじ」「さんさ」「ジョナゴールド」などへの新摘花・摘果作業の削減技術の確立 新摘花剤の効果確認	12~14	継				
160	-2112		「さんさ」「ふじ」などへの品種適応性の検討	12~14	継				

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
161	-2113		需要拡大のための省力的食味本位リンゴの生産・流通技術の確立 食味本位リンゴの省力・低コスト・平易化栽培技術の確立 新植調剤の実用化による摘果作業の削減技術の開発 ‘ふじ’ ‘さんさ’ ‘ジョナゴールド’ などへの新 摘花・摘果作業の削減技術の確立 摘果剤の効果安定法	12～14	継		
162	-2114		体系処理法の開発と省力効果の確認	13～14	継		
163	-2211		摘葉剤の実用性及び効果安定法の検討	12～16	継		
164	-2212		摘葉剤処理が樹体生理に及ぼす影響	12～16	継		
167	-2213		着色評価のための非破壊センシング利用技術の開発	12～16	継		
165	-2220		新摘葉剤の実用化及び着色系統の利用等による着色管理 の大幅削減技術の開発 着色系統利用及び着色管理の省力化技術の確立	12～16	継		
166	-1131	果樹 情報利用	食味本位リンゴの均質化栽培技術の確立 食味本位リンゴの樹体構成法及び光センサー等を利用し た均質化栽培法の確立 各種資材利用による内部品質向上・均質化技術の確 立 光センサーによる内部品質評価法の検討	12～16	継		
168	-1132	果樹	各種資材利用による内部品質向上・均質化技術 の検討	12～16	継		
169	131 -1100		果樹類の低樹高品種の育成等による省力・軽作業栽培技術の開発 カラムナータイプ等に適合した省力技術体系の開発 摘花・摘果の省力技術の開発	9～16	継		国庫 委託
170	-1200		摘葉管理の省力技術の開発	9～16	継		
171	-1300		密植立木仕立てでの省力的せん定技術の開発	9～16	継		
172	-2100		果樹類の低樹高品種の育成等による省力・軽作業栽培技術の開発 りんごスパタイプ等特殊形質樹利用による低コスト・超省 力・高品質生産技術の解明 スパタイプ等特殊形質を有する品種の栽培特性の把握	9～13	完		県単 研究
173	132 -1000	果樹 作物バ イク	先端技術応用による優良品種の開発育成 良品質・高生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	S57～13	完	果樹 応用生物学	令達
174	133 -1000	果樹	ジョナゴールド、ふじ等に優る中・晩生種の開発 国育成系統適応性（盛岡58～62号）	1～13	完	果樹	
175	-2000		国内外導入品種の選抜	1～13	完		
176	-3000		いわて特産中～晩生種の交配育成	1～13	完		
177	134 -1100		キャンベル、紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜 寒冷地向きぶどうの系統適応性試験 第9回系統適応性検定試験	4～13	完		国庫 委託
178	-1200		第10回系統適応性検定試験	4～13	完		
179	-2000		国内外育成の寒冷地向き品種の選抜（生食用、醸造、兼用種 等品種の選抜）	1～13	完		令達
180	-3000		耐寒性中・大粒種ぶどうの交配育成	1～13	完		
181	135 -1000		ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発 国内外導入品種の選抜	1～13	完		
182	136	果樹 果樹	おうとう、もも等の優良品種の選抜	1～13	完		
183	80	畑作物	麦類の奨励品種決定調査	S29～13	完	野菜畑作	県単 採種
184	81 -1000		大豆の奨励品種決定調査 基本調査	S29～13	完	やませ利用	
185	-2000		現地調査	S29～13	完		
186	83 -1000		新形質品種の特性を活かした高位安定栽培技術の確立 低アミロース小麦系統「東北206号」の高品質安定栽培技術	11～13	完	野菜畑作	国庫 委託
187	84	畑作物 水田農業	ハトムギ優良品種の選定	11～14	継		令達

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(; 主担当)	予算	
188	85	畑作物	麦類耐寒雪性特性検定試験	S29～13	完		国庫委託	
189	86		大豆立枯性病害抵抗性検定試験	S62～13	完			
190	87		ばれいしょウイルス病抵抗性検定試験	S28～13	完			
191	88		ばれいしょ系統適応性検定試験	S47～13	完			
192	89		あずき系統適応性検定試験	S40～13	完			
193	91		主産国に負けない高い製パン・製めん特性を持った小麦品種の選定と評価	7～13	完			令達
194	92		大規模機械化栽培に適したダイズ新品種の選定及び栽培実証	7～13	完			
195	96 -1400	畑作物 水田農業	不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安定栽培技術 大豆不耕起栽培体系の導入条件と展開方策 不耕起土壌の理化学性等の把握	11～15	継	野菜畑作 生産工学	国庫 研究	
196	-2200		不耕起播種による大豆の高品質・安定生産技術 不耕起、無中耕、無培土栽培に対応した土壌管理技術の確立	12～15	継			
197	-2300		不耕起、無中耕、無培土栽培に適応した品種、栽培法の検討	11～15	継			野菜畑作
198	97 -2000	畑作物	畑作物の革新的作型の確立 小麦の冬期播種栽培技術の確立	13～15	継		県単 研究	
199	739 -2100	畑作物 生産システム 畑作物	寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽培技術の開発 麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発 立毛間播種に適応した麦・大豆栽培技術の確立	13～17	継	野菜畑作 生産工学 農業経営 土壌作物栄養 営農技術 やませ利用	国庫 研究	
200	-2200		小麦・大豆立毛間播種に対応した効率的雑草防除技術の確立	13～17	継			
201	100 -1000	畑作物 情報利用	畑作物の生育相及び気象反応の解明 大豆の生育相と気象反応の解明	S49～13	完	野菜畑作 やませ利用	県単 研究	
202	-2000		麦類の生育相と気象反応の解明	S49～13	完			
203	727	畑作物	水田大豆の加工適性向上のための高品質安定化技術	13～15	継	野菜畑作	国庫 委託	
204	96 -2400	畑作物 水田農業	不耕起・無中耕・無培土栽培を基幹とした大豆の超省力安定栽培技術 不耕起播種による大豆の高品質・安定生産技術 大豆作を中心とした水田利用作付体系の実証<地域に適合した転換畑の持続的作付け体系の組立実証	11～15	継	野菜畑作 農業経営	国庫 研究	
205	105		畑作物原々種および原種生産	S29～13	完			野菜畑作
206	150 -1000	野菜	園芸作物におけるセル成型苗等の機械化生産技術の開発 新接ぎ木法に対応した養生・順化技術の確立	9～13	完			
207	151 -1110		園芸作物の経営基盤を強固にする省力・低コスト生産技術の開発 セル成型苗等省力・低コスト生産技術の開発 雨よけトマトにおけるセル成型苗直接定植技術の確立 重複2作栽培による長期どりの検討	9～13	完			
208	-1210		ハウスピーマンにおけるセル成型苗直接定植技術の確立 徒長防止による初期収量確保の検討	9～13	完			
209	156 -1000		大規模野菜生産技術の確立 夏秋キュウリの省力型品種の選抜	9～13	完			
210	-2000		雨よけトマトの省力型品種の選抜	9～13	完			
211	-3000		ピーマンの省力型品種の選抜	9～13	完			
212	738 -1000		雨よけほうれんそうの大型経営確立による産地拡大 省力技術の実証	13～15	継			野菜畑作 産地育成
213	-2000		安定多収技術の実証	13～15	継			
214	157 -3000	野菜 土壌作物 保鮮流通	園芸作物における養液土耕等の施設に対応した生産技術 地床利用によるトマトの点滴灌水同時施肥栽培技術の開発実証	12～14	継	野菜畑作 農業経営 土壌作物栄養 保鮮流通技術 南部園芸		

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
215	159	野菜 土壌作物	新肥料の肥効試験	9～13	完	野菜畑作	民間委託
216	163 -1000	野菜	ニューなばな「はるの輝」の前進作型の開発 ワックスレス中生優良系統の選抜	S58～13	完		令達
217	744 -1000		水田を活用した持続型作付体系及び優良種苗の確保によるサトイモ産地強化の実証 優良種苗の現地選抜	13～15	継	野菜畑作 応用生物学	県単研究
218	165 -1000	野菜 作物ﾊﾞｲｸ	野菜の優良栄養繁殖系品種の育成 サトイモの優良系統の選抜	10～15	継	野菜畑作	令達
219	744 -2000	野菜	水田を活用した持続型作付体系及び優良種苗の確保によるサトイモ産地強化の実証 田畑輪換を中心とした連作障害対策の実証	13～15	継	野菜畑作 病理昆虫	県単研究
220	174		えだまめ等オリジナル品種優良種苗の維持・増殖	8～13	完	野菜畑作	令達
221	191	花き 作物ﾊﾞｲｸ 花き	りんどうの品種育成	S49～15	継	花き 応用生物学	
222	192	花き 作物ﾊﾞｲｸ	スターチス類の品種育成	11～15	継		
223	193		スターチス・シヌアータの優良培養系統の特性評価	9～13	完	花き 応用生物学 南部園芸	県単研究
224	194	花き	ニュータイプ小ぎくの品種育成	1～15	継	花き	令達
225	195	花き 作物ﾊﾞｲｸ	ゆりの品種育成	5～15	継	花き 応用生物学	
226	196 -1100	花き	寒冷地における枝物花木類の栽培技術体系の確立 枝物花木の寒冷地向け適品種選定及び栽培技術の確立 品目選定と栽培特性	12～16	継	花き	国庫研究
227	-1200		効率的増殖法及び育苗技術の確立	12～16	継		
228	-1300		栽植方式及び早期株養成技術の解明	12～16	継		
229	-1400		整枝及び仕立て法の開発	13～16	継		
230	-1500		休眠特性の解明と促成栽培技術の確立	13～16	継		
231	197 -1000		寒冷地型鉢花・花壇苗物生産技術 宿根草等の鉢物化技術の確立	10～14	継		県単研究
232	202 -2000		農薬、新資材等の実用化試験 F K H -14水和剤、プロザミド水和剤の小ぎく栽培床適応性	12～13	完		民間委託
233	204		沖縄系小ぎくの長期安定出荷技術	11～13	完		令達
234	205		沖縄養成洋ラン鉢物の年内出荷体系の確立	11～13	完		
235	207		カジュアルフラワーの栽培安定化技術の確立	12～14 13	廃止		県単研究
236	208 -1000		りんどうの高品質安定生産技術の開発 りんどうの栄養系品種の高品質安定生産技術及び不時出荷技術の開発	6～13	完		
237	-1000		主要切花品目の開花調節機能の解明 りんどうの生育、開花制御要因の解明	9～13	完		
238	-2000		りんどうの作況調査	S58～13	完		
239	-3000		トルコギキョウの生育、開花制御要因の解明	9～13	完		
240	211		りんどうの高品質促成栽培技術の確立	10～14	継		
241	212 -1000		きく類の長期出荷技術の開発 小ぎく、スプレーギクの作期拡大技術の開発	9～13	完		
242	213	花き	りんどうのセル成型育苗の管理指標の策定	7～13	完		
243	746		沿岸中山間地域における花き周年生産モデルの確立	13～15	継	花き 病理昆虫	
244	214		花き原種苗の維持・増殖	S49～17	継	花き 応用生物学	令達
245	344 -3000	土壌作物 花き	新肥料の実用化試験 スプレーギクに対するノンストレス肥料の肥効確認	12～14	継	花き	民間委託

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
246	150 -2100	野菜	園芸作物におけるセル成型苗等の機械化生産技術の開発 低温処理等による付加価値型苗生産技術の開発 短日処理によるいちご促成作型の開発	9～13	完	南部園芸	県単研究
247	747 -1000		水田地帯における園芸生産の高度・安定化 いちご栽培における省力技術の導入による高度生産化	13～15	継		
248	711		いちご低温カット栽培における高設栽培技術の確立	13～15	継		
249	156 -4000		大規模野菜生産技術の確立 夏秋きゅうり急性萎凋症状の耕種の発生要因の解明	12～15	継	南部園芸 野菜畑作	
250	712		トマト溶液栽培による周年栽培技術の確立実証	13～15	継	南部園芸	
251	748 -1000		東磐井地方における園芸省力安定生産モデル経営の実証 トマト点滴かん水施肥栽培技術の実証・確立	13～15	継		
252	157 -1000		園芸作物における養液土耕等の施設に対応した生産技術 いちごのベンチアップ栽培の確立	11～15	継		
253	-2000		トマトの少量土壌培地耕栽培技術の確立	11～15	継		
254	160 -1000	野菜 土壌作物	新肥料の肥効検定他 果菜類に対する肥効確認	9～13	完		民間委託
255	193	花き 作物バィイ	スターチス・シヌアータの優良培養系統の特性評価	9～13	完	南部園芸 応用生物学	県単研究
256	197 -2000	花き	寒冷地型鉢花・花壇苗物生産技術 秋出荷花壇苗の生産体系の確立	10～14	継	南部園芸	
257	201 -2000		地帯別気象特性を生かした花き生産の長期化技術 トルコギキョウの秋冬出し高品質生産技術の確立	9～13	完		
258	710		太陽光発電を利用した栽培技術の確立	13～17	継		
259	160 -2000	花き 土壌作物	新肥料の肥効検定他 花きに対する肥効確認	9～13	完		民間委託
260	203 -1000	花き	施設の高度利用技術による花き周年生産技術 ラクスパーク等の越冬、抑制作型における良品生産技術の確立	9～13	完		県単研究
261	310 -1000	環境保全	施肥窒素溶脱抑制技術の確立 ライシメーター試験	3～14	継	環境保全	令達
262	311		農薬残留対策調査(作物残留)	S46～13	完		国庫委託
263	312		農薬残留安全追跡調査	10～14	継		国庫研究
264	313 -1000		農薬安全使用等啓発事業 防除農薬散布層の安全性確認調査	12～14	継		
265	314		土壌汚染防止対策技術の確立	S62～13	完		令達
266	749		農薬残留対策調査(水系残留)	13～13	完		国庫委託
267	315 -1100	環境保全 水稻	農薬水質影響調査 水質影響低減技術の開発 いもち病防除剤の施用法と水系での残留	10～13	完		国庫研究
268	-1200	環境保全	種子消毒廃液処理対策技術の確立	10～14	継		
269	750 -1000	環境保全 病害虫	農薬水質影響調査 育苗箱施薬による水田生態系への影響	13～15	継		
270	316 -1000	環境保全	環境にやさしいマルチ資材等利用技術 生分解性マルチフィルムの分解特性及び作物への影響調査	11～13	完	環境保全 営農技術	県単研究
271	327		寒冷地におけるケナフの栽培特性の解明	12～13	完	環境保全 営農技術 やませ利用	
272	325	土壌作物	水田地力富化の実態と適正施肥量指針策定	10～14	継	環境保全	令達
273	328 -1000		連作障害発生要因の解明 作付け体系及び土壌管理と土壌生態系の関係の解明	9～13	完	環境保全 土壌作物栄養	県単研究
274	504 -2000	生物機能 野菜 病害虫	天敵による施設果菜類の多犯性害虫防除技術の確立 キュウリにおける天敵を利用したアブラムシ類の総合防除	12～13	完	環境保全	県単研究
275	714	有機農業 野菜	キャベツにおける無農薬・無化学肥料栽培技術	13～15	継		令達

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(; 主担当)	予算
276	521	有機農業 野菜 病害虫	電解機能水による野菜の病害に対する抑制効果の実証	12～14	継		国庫 委託
277	522	有機農業	有機農産物の生産条件の解明	12～15	継		県単 研究
278	523 -2100	有機農業 水稲	水稲における環境保全型農業の総合組立 水稲の減農薬栽培技術の確立 育苗期における減農薬体系の組立	13～15	継		国庫 研究
279	-2200		本田における減農薬栽培の組立	13～15	継		
280	560 -1000	情報利用	農業気象観測とメッシュ気象図の活用方策の確立 農業気象観測と気象情報データベースの作成・管理	9～13	完		県単 研究
281	-2000		アメダスによる地域別気象特性評価	9～13	完		
282	38 -4000	水稲 土壌作物	北上川流域地帯における水稲湛水点播直播栽培技術の確立 湛水点播直播栽培の施肥管理技術	11～15	継	土壌作物栄 養 水田作	国庫 研究
283	444 -2110	生産システム 水稲	寒冷地・大区画ほ場でのロングマット水耕育苗技術と移植・栽培技術の開発 寒冷地におけるロングマット水耕育苗技術の開発 寒冷地水耕育苗における最適環境制御技術の開発 養分供給方法	11～14	継	土壌作物栄 養 生産工学	
284	320 -1100	環境保全 水稲 土壌作物	環境保全型有機質資源施用基準設定調査 有機物連用試験 水稲の有機物施用基準設定調査	10～14	継	土壌作物栄 養	令達
285	326 -1000	有機農業 環境保全 土壌作物	合理的施肥のための新肥料の開発 発酵鶏糞配合肥料の肥効確認	11～13	完		民間 委託
286	340 -1000	土壌作物 水稲	農作物の要素欠乏及び過剰対策の確立 要素反応と施肥改善(施肥反応と気象)	S38～14	継	土壌作物栄 養 営農技術	県単 研究
287	-2100	土壌作物 花き	微量要素欠乏対策 りんどうの栄養・吸収モデルの作成	S54～14	継	土壌作物栄 養	
288	341 -1000	土壌作物 果樹	りんごの生育予測、栄養診断技術の確立 りんごわい性樹の栄養診断法	9～14	継		令達
289	342 -1000	土壌作物 花き	野菜、花きの生育予測、栄養診断技術の確立 野菜・花き・畑作物の栄養診断手法の確立	11～15	継		県単 研究
290	343 -1000	土壌作物 水稲	水稲の生育予測、栄養診断に基づく対応技術の確立 水稲栄養の気象・土壌反応(作況)	S47～13	完	土壌作物栄 養 水田作	
291	157 -4000	土壌作物 野菜	園芸作物の養液土耕施設等に対応した生産技術 点滴かん水による養・水分供給技術の確立	12～14	継	土壌作物栄 養 野菜畑作	
292	345	土壌作物 花き	新肥料の実用化	13～15	継	土壌作物栄 養	民間 委託
293	347 -1000	土壌作物 野菜	肥効調節型肥料の導入技術の確立 野菜類の全量育苗時施肥技術の確立	13～14	継		国庫 研究
294	348 -2100	土壌作物 花き	露地野菜・花き等の土壌管理技術の確立 りんどうの土壌管理指針策定 りんどう生産環境実態調査	10～14	継		
295	-2200		りんどう土壌管理指針策定	10～14	継		
296	349 -1000	土壌作物 果樹	果樹桑等の永年作物の土壌管理技術 りんご園の土壌管理有機物施用指針策定	10～14	継		令達
297	350 -1000	土壌作物 野菜	施設野菜栽培土壌の塩類集積予防対策と土壌管理技術の確立 施設栽培における有機物施用基準の策定	5～14	継		
298	351 -2000	土壌作物 環境保全	不良土壌基盤の簡易改良技術の開発 下層土改良による畑土壌の生産力の向上	9～14 13	廃止		
299	324 -1100		良質堆厩肥の有効利用技術の確立 畜産由来資源等の特性解明と有効利用技術の確立 家畜ふん堆肥の品質評価基準の策定	9～14 13	繰上 完了	土壌作物栄 養 飼料生産	

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(: 主担当)	予算
300	-1200		家畜ふん堆肥の成分特性	9～14 13	繰上 完了		
301	-1300		家畜ふん堆肥のデータベース作成	9～14	継		
302	319		家畜糞尿施用による水質汚染防止技術の確立	9～13	完	土壌作物栄養	
303	353	土壌作物	土壌中可給態窒素の簡易評価法の確立	9～13	完		県単 研究
304	355 -1000		土壌蓄積養分の有効利用法 土壌中可給態窒素・交換性カリ含量と作物生育との関係解明	9～13	完		
305	357		畑土壌における土壌中可給態窒素含量と作物生育との関係解明	9～13	完		
306	751 -1000	土壌作物 情報利用	気象変動下における作物生産シミュレーションモデルの開発 作物生育適地評価システム開発	13～15	継	土壌作物栄養 農業経営 営農技術	国庫 委託
307	320 -2000	土壌作物 環境保全	環境保全型有機質資源施用基準設定調査 土壌機能実態モニタリング調査	10～14	継	土壌作物栄養	国庫 研究
308	-1200		有機物連用試験 畑地の有機物施用基準設定調査	10～14	継		令達
309	157 -5000	野菜 保鮮流通	園芸作物における養液土耕等の施設に対応した生産技術 養液土耕栽培での高品質生産条件の解明	11～15	継	保鮮流通技術 野菜畑作	県単 研究
310	530 -1000	保鮮流通	各種農産物の品質評価指標の解明 果菜類の簡易品質評価法	11～13	完	保鮮流通技術	
311	-2000	保鮮流通 野菜	寒締め菜っぱの簡易品質評価法	13～15	継		
312	531 -1000	保鮮流通 野菜 土壌作物	農産物の各種栄養成分含量と土壌環境条件との関係の解明 ほうれんそう内部品質向上のための有機物施用等土壌管理技術の確立	10～14	継	保鮮流通技術 土壌作物栄養	国庫 研究
313	745	保鮮流通 野菜	枝豆新品種の鮮度保持技術の確立	13～15	継	保鮮流通技術	令達
314	128 -3100	保鮮流通 果樹	需要拡大のための省力的食味本位リンゴの生産・流通技術の確立 食味本位リンゴの鮮度保持・流通技術の確立 食味本位リンゴの冷温高湿貯蔵技術の確立	12～16	継	保鮮流通技術 果樹	国庫 研究
315	196 -2100	保鮮流通 花き	寒冷地における枝物花木類の栽培技術体系の確立 切り枝の品質保持技術の確立 鮮度保持剤等の利用による品質保持技術の確立	13～16	継	保鮮流通技術 花き	
316	536	保鮮流通 野菜 花き	真空予冷施設等を高度に活用した高鮮度流通技術の開発	11～13	完	保鮮流通技術	県単 研究
317	483 -4000	農産物加工 畑作物	地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立 雑穀の加工適性評価	12～14	継	保鮮流通技術 やませ利用	国庫 研究
318	544 -2000		地域特産物を利用した加工食品の開発 大豆加工菓子類等の製造技術開発	13～13	完	保鮮流通技術	令達
319	483 -5000		地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立 雑穀の粒形を活かした加工品の開発	12～15	継	保鮮流通技術 やませ利用	国庫 研究
320	546 -1000	農産物加工	農産物加工品の品質評価法の確立 地域推奨品流通適正化調査分析	11～14	継	保鮮流通技術	令達
321	548		加工工房指導業務	9～14	継		県単 公園
322	370	病害虫 果樹	りんごのカメムシ類の発生生態と防除法	9～13	完	病理昆虫	国庫 研究
323	371 -2000	病害虫 花き	花き類の新奇病害虫の発生生態把握及び防除技術の開発 りんどうのチビクロキノコバエの防除技術	9～13	完		県単 研究
324	372	病害虫	新奇侵入病害虫の診断法と発生生態の解明	9～17	継		国庫 研究
325	373	病害虫 水稻	斑点米カメムシの発生生態解明と防除法の確立	12～14	継		
326	374	病害虫 野菜	ねぎ病害虫の発生生態	9～13	完		県単 研究

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
327	731		なす科野菜における青枯病総合防除技術の確立	13～15	継	病理昆虫 野菜畑作	国庫研究
328	733	病害虫 果樹	リンゴ根頭がんしゅ病の発生生態と診断法	13～14	継	病理昆虫 果樹	県単研究
329	734	病害虫 花き	キク矮化ウイルスの遺伝子診断法の確立	13～14	継	病理昆虫	
330	382	病害虫 水稲	イネもみ枯細菌病菌	12～14	継		国庫研究
331	383	病害虫	りんごのハダニ類	9～13	完		
332	735	果樹	リンゴ炭そ病の発生予察技術の開発	13～15	継		
333	389 -1000	病害虫 花き 情報利用	野菜花き害虫の発生・防除時期予測システムの開発と実証 りんどう病害虫防除体系の確立と実証	10～14	継		
334	388	病害虫 水稲 情報利用	イネいもち病の省力的予察法の確立及び広域の実証	12～15	継		
335	392	病害虫 畑作物	あずきウイルス病抵抗性検定試験	S53～17	継		国庫委託
336	393	病害虫 野菜	トウモロコシすす紋病抵抗性検定試験	S33～13	完		
337	394	病害虫 草地飼料	ソルガムすす紋病抵抗性検定試験	S37～13	完		
338	402	病害虫	新農薬の効果検定と防除基準作成	S49～17	継		民間委託
339	715	病害虫 水稲	水稲初期害虫の隔年防除技術の確立	13～15	継	病理昆虫 営農技術	国庫研究
340	730	病害虫 野菜	きゅうりにおける総合的病害防除技術の確立	13～15	継	病理昆虫	
341	741 -2000	病害虫 果樹	複合交信攪乱剤利用りんご園における散布回数削減病害虫防除体系の確立と実証 散布回数削減病害虫防除体系の実証	13～15	継		県単研究
342	742 -2000	生物機能	有用拮抗微生物の探索と評価 昆虫病原ウイルスの利用技術	13～15	継		
343	415 -2000		土着天敵群の実態解明とその利用技術 ピーマン害虫に対する総合防除技術の確立	12～14	継		
344	492 -2000		需要動向を見極めた繭・糸・桑の生産技術開発 細織度三眠蚕生産技術の現地実証	13～14 13	繰上 完了		
345	499		天蚕の優良系統育成	1～17	継		令達
346	502		人工飼育昆虫の利用技術	12～14	継		県単研究
347	236	肉畜	日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45～17	継	家畜育種	令達
348	237		日本短角種産肉能力検定(間接法)	S48～17	継		
349	240	肉畜 情報利用	血統情報及び超音波利用による種畜評価技術の確立	9～13	完		県単研究
350	241	肉畜 家畜バイク	分割胚由来一卵性双子を用いた優良種畜作出システムの確立	9～13	完	家畜育種 家畜工学 外山畜産	
351	242 -2400	肉畜	北上山地における公共放牧地の高度利用による黒毛和種肥育素牛の放牧管理技術の確立 集約放牧を取り入れた黒毛和種肥育素牛の発育向上技術の開発 放牧育成肥育素牛の肥育特性の解明	12～15	継	家畜育種 農業経営	国庫研究
352	246		「いわて短角牛」適正出荷のための肥育技術の確立	12～14	継	家畜育種	県単研究
353	247	肉畜 情報利用	黒毛和種肥育素牛の早期能力判定技術の開発	8～13	完	家畜育種 種山畜産	研究
354	248	肉畜	ビタミンA制限による肥育技術の確立	10～15	継	家畜育種	令達
355	249		高能力、高品質、斉一性の高いランドレース種の系統造成	5～13	完		

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
356	251		優良鶏性能調査	2～17	継		
357	720		岩手独自の交雑種鶏を活用した組み合わせ検定	13～15	継		県単研究
358	723	環境保全	戻し堆肥の敷料利用システムの確立	13～14	継	家畜育種 飼料生産 家畜飼養	
359	230	酪農	高泌乳・高蛋白牛飼養管理技術の確立	10～16	継	家畜飼養 家畜工学	
360	721		集約放牧を組み入れた高能力牛の育成期飼養管理技術の確立	13～17	継	家畜飼養	
361	232		時間制限集約放牧を組み入れた高能力牛群飼養管理技術の確立	10～14	継		
362	233 -1100	酪農 情報利用	完全自動(ロボット)搾乳機等を応用した超省力管理技術の確立 完全自動(ロボット)搾乳機等を応用した超省力管理技術の確立 搾乳ロボット等を応用した超省力管理技術の確立	9～13	完		
363	722	酪農	ロボット搾乳とパーラー搾乳が乳腺細胞に及ぼす影響と乳房炎発生との関係	13～15	継		
364	300	家畜ハイク	受精卵移植技術実用化確立試験	9～13	完	家畜工学	
365	301	肉畜	過剰排卵処理法と経膈採卵の組み合わせによる胚生産の検討	11～13	完	家畜工学 種山畜産	令達
366	302	家畜ハイク 酪農	雌雄判別技術を利用した乳用牛群改良技術の確立	11～15	継	家畜工学 家畜飼養 種山畜産	県単研究
367	303	家畜ハイク 肉畜	核移植技術による優良種畜の大量生産技術の開発	10～15	継	家畜工学 外山畜産 種山畜産 家畜飼養	国庫研究
368	304		肉用牛における経済形質とDNAマーカーとの連鎖解析	7～18	継	家畜工学 家畜育種 種山畜産	令達
369	740 -3000	水稻 草地飼料	寒冷地北部におけるホーククロップ用イネの栽培実証 良質イネホーククロップサイレージ調整技術の確立	13～15	継	飼料生産 水田作	国庫委託
370	253	草地飼料	とうもろこし市販品種の特性比較試験	S54～17	継	飼料生産	令達
371	254		とうもろこし系統適応性検定試験	S55～17	継		国庫委託
372	725		ソルガム市販品種の特性比較	13～15	継		令達
373	255 -1000		採草用牧草の品種選定試験 オーチャードグラス	11～13	完		
374	-2000		チモシー	11～13	完	飼料生産 外山畜産	
375	726		採草用牧草の播種基準の策定	13～15	継	飼料生産 水田作	県単研究
376	256 -1400		北上山地における公共草地の高度利用のための貯蔵粗飼料生産・供給システムの確立 北上山地における良質粗飼料生産・調製・供給システムの現地実証 開発技術導入による良質粗飼料生産・調製・供給システムの現地実証	10～13	完	飼料生産 農業経営	国庫研究
377	-2100		採草地の機能強化のための良質粗飼料生産技術の開発 公共草地における低位利用草地の簡易牧草種子追播機による草生改良技術の確立	10～13	完	飼料生産	
378	-2200		新品種導入等による標高別草種・品種の新組み合わせ選定(中標高地)	9～13	完	飼料生産 外山畜産	
379	743		ソルガムラップサイレージ調製技術	13～15	継	飼料生産	令達
380	257		糞尿施用とうもろこし畑の簡易診断技術の確立	10～14	継		県単研究
381	259		牧草の気象感応試験	S41～13	完		県単研究
382	724		被覆植物を活用した飼料畑の雑草抑制技術の確立	13～15	継		
383	263		粗飼料の硝酸態窒素簡易測定法の確立	12～13	完		

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
384	318	環境保全	ロックウールの脱臭装置の高機能化とドレインの環境保全的循環技術	12～16	継		国庫委託
385	323		県内における各種堆肥化システムの稼働実績と適応性の解明	12～13	完		県単研究
386	242 -2100	肉畜 草地飼料	北上山地における公共放牧地の高度利用による黒毛和種肥育素牛の放牧管理技術の確立 集約放牧を取り入れた黒毛和種肥育素牛の発育向上技術の開発 草種構成と緩効性肥料の組み合わせによる草地生産平準化技術	11～15	継	外山畜産	国庫研究
387	-2200	肉畜	適正輪換放牧方式による発育向上技術	11～15	継		
388	-2300		放牧草の栄養特性に対応した補助飼料給与技術	11～15	継		
389	243	肉畜 家畜バィク	胚移植技術を取り入れた効率的な繁殖経営の実証	9～13	完	外山畜産 家畜工学 農業経営	県単研究
390	256 -2300	草地飼料	北上山地における公共草地の高度利用のための貯蔵粗飼料生産・供給システムの確立 採草地の機能強化のための良質粗飼料生産技術の開発 新品種導入等による標高別草種・品種の新組み合わせ選定(高標高地)	9～13	完	外山畜産 飼料生産	国庫研究
391	262		広葉樹林帯を活用した肉用牛放牧における水土保全機能の解明	11～15	継	外山畜産	県単研究
392	234	肉畜	黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62～17	継	種山畜産	令達
393	235		黒毛和種産肉能力検定(間接法)	1～17	継		
394	238		県有種雄牛の能力調査	9～13	完		県単研究
395	751 -2000	畑作物	気象変動下における作物生産シミュレーションモデルの開発 土壌水分予測に基づく効率的かん水技術の開発	13～15	継	営農技術 産地育成	国庫委託
396	154 -4000	野菜 土壌作物	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 緑肥導入技術の環境の評価	13～13	完	営農技術 病理昆虫 産地育成	
397	-2200	野菜 やませ利用 土壌作物	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 省力機械化体系に適した栽培技術開発 機械化に対応した施肥技術の改良	10～13	完	営農技術 土壌作物栄養	国庫研究
398	316 -2000	環境保全 野菜	環境にやさしいマルチ資材等利用技術 環境にやさしいマルチ資材等利用技術	11～13	完	営農技術	県単研究
399	320 -1100	環境保全 水稲 土壌作物	環境保全型有機質資源施用基準設定調査 有機物連用試験 水稲の有機物施用基準設定調査	10～14	継		令達
400	-1200	環境保全 土壌作物	畑地の有機物施用基準設定調査	10～14	継		
401	321 -1000	環境保全 水稲	有機質資材等の施用管理技術の確立 有機質資材の水田での窒素発現特性把握	9～13	完	営農技術 土壌作物栄養	
402	-2000	土壌作物	有機質資材中窒素の水稲による利用率把握	9～13	完		
403	-3000		有機質資材の水田施用と水質	9～13	完		
404	-4000		有機質資材の環境保全型施用技術総合実証	9～13	完		県単研究
405	343 -2300	土壌作物 水稲	水稲の生育予測、栄養診断に基づく対応技術の確立 水稲作物栄養モデルの作成 岩南16号の生育診断指標	9～14	継	営農技術 やませ利用	
406	352 -1000	土壌作物	開発農地の土壌管理技術の確立 新規造成畑の早期熟畑化実証(場内)	9～13	完	営農技術 土壌作物栄養	
407	716 -1000	病害虫 野菜	中山間地域特産物及び花き類の新奇病害虫の生態把握及び防除技術の開発 レタスにおけるナモグリバエの発生生態と防除法の確立	13～15	継	営農技術 病理昆虫	
408	752	病害虫	害虫発生予察支援システムの開発	13～17	継		

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
409	154 -5000	病害虫 病害虫 野菜	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 土地利用型輪作体系における生産性向上制限要因の解明	9～13	完	営農技術 病理昆虫 産地育成	国庫 研究
410	398 -1000	病害虫 野菜	東北北部中山間畑作地帯におけるキャベツの環境保全型栽培技術 の確立 キャベツ根こぶ病菌密度の推移と発病度の実態解析	10～14	継	営農技術	
411	-2000		土壌評価に基づく対抗植物を利用したキャベツ根こぶ病発病 抑制効果の評価	10～14	継		
412	-3000		キャベツのコナガ寄生蜂導入条件の策定	10～14	継		
413	-4000		検定植物を用いた根こぶ病の簡易菌密度推定法の確立	10～14	継		
414	-5000		C Rダイコンを組み込んだ転作体系による減農薬栽培技術の 実証	10～14	継		
415	-6000		エンバクを組み込んだ輪作体系による減農薬栽培技術の実証	10～14	継		
416	402	病害虫	新農薬の効果検定と防除基準作成	S49～17	継		民間 委託
417	753	農業農村 やませ利用	大規模普通畑作経営体の地域農業に及ぼす効果	13～15	継		県単 研究
418	706	生産システム 水稲	県北部を対象とした水稲低コスト生産システムの開発	13～15	継	営農技術 やませ利用 水田作 生産工学 農業経営	
419	563 -1100	生産システム 野菜	野菜・花き等機械化技術の開発 作業機械・新資材の利用技術の確立 ほうれんそう収穫機械の開発改良	10～14	継	営農技術	令達
420	739 -2200	生産システム 畑作物	寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽培技術の 開発 麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発 小麦・大豆立毛間播種に対応した効率的雑草防除技術	13～17	継	営農技術 やませ利用 生産工学 野菜畑作	国庫 研究
421	154 -1120	やませ利 用 野菜 農業農村	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 機械化畑輪作体系の成立条件と導入対策 露地野菜の省力機械化技術の適応条件の解明 ダイコン等	9～13	完	営農技術 生産工学	
422	482	やませ利用	畑地かんがい地帯における野菜・花き等を組み入れた高収益モデル 実証	13～15	継	営農技術	県単 研究
423	483 -2514	やませ利 用 畑作物 病害虫	地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確 立 高付加価値農産物の生産・流通技術の開発(技術開発試験) 雑穀類の高付加価値化技術 ヒエ・アワの無農薬機械化栽培技術 アワを中心とした雑穀類の害虫の発生生態の解 明と防除対策	11～15	継	営農技術 やませ利用	国庫 研究
424	-2515	やませ利 用	ヒエ・アワの乾燥調製法	11～15	継		
425	-3212	畑作物	消費ニーズを踏まえた生産流通システムの実証 高付加価値雑穀の生産技術の現地実証 ヒエ・アワの無農薬栽培現地実証 ヒエ・アワの乾燥調製法	11～15	継		
426	713 -2000	やませ利 用 野菜	雨よけほうれんそう大型経営体育成のための技術確立 省力低コスト化技術体系の組み立て	13～15	継	営農技術 産地育成 生産工学 農業経営	県単 研究
427	520	有機農業 野菜	作型を利用したレタスの無農薬栽培技術	9～13	完	営農技術 環境保全 病理昆虫	令達
428	154 -2110	野菜 生産システム やませ利用	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 省力機械化体系に適した栽培技術の開発 定植機・収穫機等に対応したキャベツ栽培法の確立 定植苗の生育斉一化	9～13	完	産地育成 営農技術	国庫 研究

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
429	-2120		本畑での生育斉一化	9～13	完	産地育成 営農技術	
430	-3100	野菜 生産システム 農業農村	野菜の省力機械化技術を基幹とした大規模畑輪作技術 機械化畑輪作体系の実証と評価 機械化畑輪作体系の作物生産に対する評価	9～13	完	産地育成 農業経営 営農技術	
431	161	野菜 土壌作物	新肥料の肥効試験	11～13	完	産地育成	民間 委託
432	164 -3000	野菜	地域適応性に優れた品種の選定 キャベツの品種選定	9～13	完		県単 研究
433	-4000		ハウレンソウの品種選定	9～13	完		
434	-5000		ダイコンの品種選定	9～13	完		
435	173		調理用トマトの安定生産技術	11～13	完		
436	483 -2200	野菜 やませ利用	地域資源を活用した高付加価値農産物の生産・流通システムの確立 高付加価値農産物の生産・流通技術の開発(技術開発試験) コマツナ等の冬春期安定生産技術の開発	11～13	完	産地育成 農業経営	国庫 研究
437	-2310		山菜の安定生産技術 ウルイの母株養成技術の開発	11～15	継		
438	-2320		促成栽培に有望な山菜類の収集	11～15	継		
439	-2330		有望山菜の生産安定技術の検討	13～15	継		
440	-2410	花き やませ利用	特産的花きの商品化技術 有望品目・有望品種の収集及び選定	11～13	完		
441	-2420		有望品目・有望品種の栽培法の検討	12～14	継		
442	-2430		宿根草・花木を組み合わせた長期継続出荷体系の確立	13～15	継		
443	-3110		消費ニーズを踏まえた生産・流通システムの実証(体系化実証試験) 高付加価値花きの生産技術の現地実証 有望宿根草・花木の現地適応性	11～14	継		
444	-3120		低コスト高品質栽培の実証	12～14	継		
445	199	花き 地域活性化	寒冷地における法面の省力的管理・景観形成に適した植物種の選定及び低コスト増殖	12～14	継	産地育成	県単 研究
446	201 -3000	花き	地帯別気象特性を生かした花き生産の長期化技術 デルフィニウムの品種選定と栽培技術の確立	9～13	完		
447	484 -3000	花き やませ利用	県北中山間地域における花き品目導入による農業経営の確立実証(一戸町小友地区) 花壇苗周年生産技術の確立	9～14	継		
448	344 -5000	花き 土壌作物	新肥料の実用化試験	11～13	完		民間 委託
449	713 -1100	やませ利 用 野菜	雨よけほうれんそう大型経営体育成のための技術確立 高位安定生産技術の確立 遮光方法の検討	13～14	継	産地育成 営農技術 農業経営	県単 研究
450	-1200		かん水方法の検討	13～14	継		
451	-1300		効率的安定生産技術の検討	13～14	継		
452	15 -3000	水稲	水稲生産力検定試験 生産力検定本試験(早生品種関係等)	9～13	完	やませ利用	令達
453	24 -2000		育成地間相互交換水稲系統適応性検定試験 早生水稲系統	9～13	完		
454	35 -2000		奨励品種決定予備調査(粳、糯) 早生品種	S29～13	完		県単 採種
455	36		奨励品種決定本調査(粳、糯) 早生品種	S29～13	完		
456	40 -1200		水稲作用新除草剤の効果の解明 水稲作用除草剤第2次適用性試験 県北適応性	S34～13	完	やませ利用 水田作	民間 委託
457	704 -2000	水稲 保鮮流通	米の食味改善診断技術の開発 早生水稲品種の食味診断技術開発	13～15	継		県単 研究

番号	課題番号	推進構想分野	課題名	研究期間	実施区分	担当研究室(;主担当)	予算
458	47 -1110	水稲	栽培条件に対応した高品質・良食味生産技術の開発 水稲有望系統の栽培特性 「岩南16号」の栽培特性 作期・施肥法	12～15	継		
459	-1120		地域適応性・施肥法(現地試験)	12～15	継		
460	49 -2000	水稲 情報利用	水稲作況調査と作柄成立要因の解析 早生品種	S34～13	完	やませ利用 土壌作物栄養 病理昆虫	
461	50 -2000	水稲	水稲優良品種の気象反応試験 早生品種関係	S34～13	完	やませ利用	
462	82 -1000	畑作物	普通作物等の多収良質品種の育成 小麦奨励品種決定調査	S56～13	完	やませ利用 野菜畑作	県単 採種
463	-2000		大豆奨励品種決定調査	S29～13	完	やませ利用	
464	-3000		そば優良系統の選抜	13～15	継	やませ利用 野菜畑作 保鮮流通技術	県単 研究
465	483 -2511	畑作物 やませ利用	高付加価値農産物の生産・流通技術の開発(技術開発試験) 雑穀類の高付加価値化技術 ヒエ・アワの無農薬機械化栽培技術 ヒエの育苗法の検討	11～15	継	やませ利用 営農技術	国庫 研究
466	-2512		アワの除草法の検討	11～15	継		
467	-2513		ヒエの無農薬水田移植栽培技術の検討	11～15	継		
468	-3210		消費ニーズを踏まえた生産・流通システムの実証(体系化実証試験) 高付加価値雑穀の生産技術の現地実証 ヒエ・アワの無農薬機械化栽培現地実証	11～15	継		
469	754	畑作物	新規需要・高機能性品種・系統の選定 高製パン適性小麦系統「東北214号」の高品質・安定多収栽培技術	13～15	継	やませ利用 野菜畑作	国庫 委託
470	90		大豆系統適応性検定試験	S45～13	完	やませ利用	
471	93 -1000		革新的農業技術・経営実証 大豆無培土栽培現地実証	11～13	完		令達
472	99 -1000		新資材の実用化 子床用ポット 生分解性資材	12～13	完		民間 委託
473	-2000		育苗用培土	12～13	完	やませ利用 営農技術	
474	101 -1000		気象と作物の生育相解析 小麦作況調査	S57～13	完	やませ利用 野菜畑作	県単 研究
475	-2000		大豆作況調査	S57～13	完		
476	316 -3000	環境保全 畑作物	環境にやさしいマルチ資材等利用技術 鍬込み可能マルチの葉たばこ栽培への適応性	10～13	完	やませ利用	
477	739 -2100	生産システム 畑作物	寒冷地における立毛間播種機利用による麦・大豆輪作栽培技術開発 麦・大豆立毛間播種栽培技術の開発 立毛間播種に適応した麦・大豆栽培技術の確立	13～17	継	やませ利用 営農技術 野菜畑作	国庫 研究
478	171 -1110	やませ利 用 野菜 土壌作物	北部沿岸農地開発地域における大規模野菜作経営の実証 農地開発地における持続型高収益野菜モデル経営の実証 継続実施可能な有機物施用方法の検索 畜産由来有機物利用による低コスト土壌改良効果実証	13～15	継	やませ利用 営農技術	県単 研究
479	-1210		高収益土地利用型野菜等を組み入れた畑輪作体系の確立 緑肥を組み入れた普代型モデル畑輪作体系の実証	13～15	継		